

資産運用レポート：割安小型成長株

1 はじめに

清原達郎氏の著書『わが投資術 市場は誰に微笑むか』から引用します。

我々の戦略は割安小型株の中から「割安成長小型株」を探すということです。手間はかかりますが、これが日本の株式市場で一番儲けやすく、しかも大きく儲ける方法です。

数は少ないけれど「成長株が小型株の中に紛れ込んで」いて、株価がとっても安く放置されていることがあるのです。

割安成長小型株の代表選手として、真っ先に思い浮かんだのが個別指導補習塾大手の明光ネットワークジャパン（4668）です。

個人経営の学習塾からシェアを奪い成長していたにもかかわらず「少子高齢化で業界全体の成長が望めない」という理由で機関投資家の評価が低く、株価の割安な状況（私の記憶ではP E R 1桁）が2003年頃まで続いていました。

それにいち早く気づいた個人のバリュー投資家が大儲けした銘柄です。もちろん清原達郎氏の率いるタワー投資顧問も投資していました。

今回の資産運用レポートでは、割安成長小型株投資の候補となりえる会社を紹介します。

★明光ネットワークジャパン 月足チャート

